



ここから先が
専用設計
なのだ!



右(黒)がすでにブラケットを取り外した180SXに装着したシルビア用/バズーカ。左(白)の180SXが装着しているのが180SX専用設計のバズーカだ。

見た感じじゃわからないけど、
ここも微妙な専用設計なのだ。
マフラーが二本並んでいる写真を見てくれ。
右側が180用、左側がシルビア用のバズー
カだ。
と、言われても「ど」が違っただけ」とい
うのが正直なところだろう。それほど微妙な違
いだからね。
でも「微妙な違い」の効果は、取り付ける
と写真のようにハッキリしたことになるんだ。
具体的にどこが違うか、というと、メイン
パイプはまったく同じもので、メインサイレ
ンサーのフランジ角度とサイレンサーに付い
ているフックの長さなんだ。
もちろん、最近のマフラー交換では常識と
なっている「強化ハンガーリング」を使っ
ても大丈夫だよ。その証拠に写真は、全車とも
強化ハンガーリングを使っているんだもん。

TUNING NEW WORLD
TUNING PARTS NEW COMER



問い合わせ：トリアルプロジェクト ☎0722-54-9777

197.5 OPTz

ありましてなかった
シルビアと180SXの別設計

#S13のシルビアと180SXのマフラーは、ほとんどのメーカー、共通だということ知ってるかい?

シルビアも180SXも、マフラーの取りまわしが同じというか、基本ボディが同じものだから共通なものも不思議なことじゃないんだけど、唯一の違いがマフラー出口の真上のけん引ブラケットの大きさなんだ。

バンパー形状の違いから、シルビアのブラケットは小さいんだけど、180SXは大きい。その差は約10mmだ。

で、これがマフラー交換のときにシルビアな問題になるわけ。

出口がデュアル(2本)のマフラーだったらほとんど問題はないけど、流行りの「一本出し極太マフラー」に交換しようとしたとき、180SXは出口がけん引ブラケットに当たって「ゴツゴツ」と音が出るんだよね。

この問題については、マフラーメーカー各社も色々な対策を講じている。たとえば、(1)180SXに装着してもブラケットに当たらないようにテールパイプが下めについている。

(2)「当たる場合はブラケットを取り外してくれ」と説明書に書いてある。

(3)テールパイプにブラケットの逃げが作られている。

(4)そんなこと気にしていない。

(1)の対策法は、180SXの専用設計ともいえる方法だから、干渉はないんだけど、シルビアに付けたときは、なんか出口がやたら下にあって間抜けな感じがする。

(2)は対策方法としてはいいのかも知れないけど、せっかくなっているブラケットを外すのももったいない。走り屋ならけん引ブラケットの大切さは身にしみているもんね。

(3)は今のところ、もっとも有効な対策方法みたいだけど、採用しているマフラーはごくごく一部。編集部が知る限りでは、HKS

のスーパードラッグだけじゃないかなあ。きっと加工代が高いから普及しないに違いない。

(4)たいていの音や振動は気にならないひとにはこれでいいんだけど、一般的に対策とはいわない。

と、こんなところ。
この中に「シルビアと180SXを別々に設計している」というのがなぜないのか、けっこう不思議だったんだけど、やはりコストの問題とかで、やりたくてもできなかったんだろう。

それが、ここへきてついに登場!
トリアルプロジェクトがリリースしている極太マフラー「バズーカ」がシルビアと180SXが個別の専用設計となったのだ。

写真を見てもらえばわかるように、180SX用マフラーはブラケットをかわすためにサイレンサーごと少し下がっているんだ。

180SXでも、すでにブラケットを取り外してある場合(チューンド中古車に多い。やっぱりあのゴツゴツ音は気になるから、みんなブラケットを取り外しちゃうんだよね)は、シルビア用を使うことになる。この場合はシルビア同様、バンパーにピタリとフィットさせることができるのだ。



バズーカはメインパイプ80φ、テールパイプ(出口)は140φ。サイレンサーとテールパイプにはステンレスを採用している。価格は8万5000円(工費・税別)だ。

マシ大集合!

THE BATTLE OF
S13/S14

バーフェンシルビア、大増殖!?

賞典外

No.139



トライアル・シルビア

大阪からの選征組、マッキー牧原のトライアル号は予選でまさかのエンジンブロー。超カッコいいマシンで活躍を期待していただけにスゴク残念!

JUNオートぐらんぷりシルビア

No.138



賞典外

前回の覇者、フュージョン駒形のJUNオートぐらんぷりシルビアは、今回は賞典外の出走ということでスリックを履いて参加。あいかわらずの速さで、トップで暫定チェッカーを受ける。

スクランブルレーシングPS13

スーパークラス
5位

No.85



ヤシオファクトリーF14

予選リタイヤ

No.97



今回の世界一決定戦の総エントリー台数は、ハチロクとシルビア/180SXでちょうど64台ずつの計128台。前回まではハチロクのほうが多かったんだけど、そろそろシルビア/180SXに世代交代する時期がやってきたようだね。それはさておき、ここではハチロク&シルビア/180SX世界一決定戦で見つけた“スーパーカッコいい”マシンをビシッとチェックしてみよう!

シルビア/180SX
スーパークラス レース模様



プロスコポレーションS13

スーパークラス3位

No.84



ユージーランドボディーS13

No.86



スーパークラス
決勝リタイヤ

シルビア/180SX
ストリートクラス レース模様



No.137

NEKO・OPT2・シルビア



賞典外

おなじみ、マサ・サイトー駆るNEKO・OPT2・シルビアは、フリー走行でいきなりミッションブロー。原因はどうやら、前日に食べた“あんこう鍋”らしい!

シルビア/180SX日本一決定戦の覇者、アウトスライダーレーシングの五十嵐が序盤でトップに立ちレースをリード、そのまま独走でチェッカーを受ける。予選下位クラスは激しいバトルの末、新見が制した。

TUNING NEW WORLD
TUNING PARTS NEW COMER

140ゆめ大迫力テールが
シルビアにも 180SXにも
ジャストフィット!

for **SILVIA**



for **180SX**



ありそうでなかつたぞ!
シルビアと180SXの
両車専用設計マフラー
トライフォース・バズーカ

盛り上がりまくりっ! イベント報告だっ!

初体験の オートサロンに感激!

生まれて初めてのオートサロンを満喫しました。いちばん最初に飛んで行ったところはモチロンOPT2ブース……ではなくて、大好きなアディダスのトライアルブースです。気軽に一緒に写真を撮ってくれたマッキーさんにますますホレました。主人もマッキーさんの隠れファンなんです。超お得な福袋ももちろん買いました。

OPT2ブースで、マサさんと写真撮影のためですが、フラッ

シユが……泣きました。

主人は、RVが多かったせいもあって、なにが違う感じだと言っていました。わたしは結構満足したんですけど。

でも、来年はアマさんや土屋さん写真撮るゾー! とハリキッテます。

●FC3Cナビレカロにはミカ ☆常連さんっていいよねえ。住所を書き忘れてもステッカーを発送できちゃうだもんねえ。でも、調べるのメンドーだから、次からはちゃんと住所書いてね。



中学最後の思い出は 大阪オートメッセ!

1月26日、兄とボクとで、大阪オートメッセに行ってきました。OPTブースにターザン山田さんがいました。ボクはターザン山田さんと一緒に写真を撮ってもらい、握手もサインもしてもらいました。カメラの調子が悪くて、ちょっとピンボケしたのが残念でした。で

も、とても楽しかった。

中学最後のいい思い出になりました。

●大阪府泉大津市 青木 克憲 ☆と、たくさんのおたよりありがとうね。でも、ライブな魅力はなかなか誌面では伝わりきれない。まだ来たことのないみんな、来年こそは来てちょーだい。ソンはしまへんで〜!



名古屋パフォーマンスカーショー の報告ですっ!

その1

ステッカー引き換え券 を忘れたけど……

2月22日(日曜日)行ってきました、名古屋パフォーマンスカーショー! ものすごい迫力で圧倒されました。ボクと彼女は、会場に着くなり、OPT2ブースへ向かいました。バット、ステッカー引換え券を忘れてしまったのです。が〜んって感じてした。

ボーゼンと悲しそうな顔でたっていると、Daiさんと、ターザン山田さんが手招きして、一緒に写真を撮ってくれました。もう、ボクと彼女は大はしゃぎでした。

スタッフのみなさんも、一生懸命働いておられ、なんか、とても感動してしまいました。

優しさのある職場、OPT2さん、これからもがんばってくださいね。

(DUNLOPのブースでクイズに答えて、色々なグッズがもらえ、RE WINGのブースでは、200円のクジでターボタイマーが当たったし、うれしかったです!)

●愛知県江南市 手塚 孝之 ☆読者にもスタッフにも優しい! のがボクのモットーだもん、とーぜんッス! (Dai)

その2

Daiさんと お話しできて感激

ボクは、この度、先輩と一緒にパフォーマンスカーショーに行ってきました。本当は東京オートサロンに行きたかったんですが、休みなどの関係上、名古屋にしました。もう、サイコーでした。

異常なまでの盛り上がりでキレイに仕上げられたチューニングカーたち。クルマだけでも最高によかったけど、やっぱり、Daiさんやノムケンさん、土屋圭市さん、アマさん、越前屋横山さんなどをこの目で見れたことがいちばんうれしかったです。

OPT&OPT2ブースではお守りなどを買って、Daiさんと話せたのがうれしかったです。体調が悪かったのが悔やまれるので、今度は体調万全で行きたいと思います。

最後にショップのみなさん、これからもカッコよいクルマ、速いクルマなど、魅力あるクルマ作りががんばってください。

●三重県伊勢市 E-EP82 ☆Daiも、みんなのナマの声を聞けて喜んでました。これからもガンガン話しかけたってれ〜。



マシ人大集合!

THE BATTLE OF
S13/S14

バーフェンシルビア、大増殖!?

賞典外

No.139



トライアル・シルビア

大阪からの選征組、マッキー牧原のトライアル号は予選でまさかのエンジンブロー。超カッコいいマシンで活躍を期待していただけにスゴク残念!

JUNオートぐらんぷりシルビア

No.138



賞典外

前回の覇者、フュージョン駒形のJUNオートぐらんぷりシルビアは、今回は賞典外の出走ということでスリックを履いて参加。あいかわらずの速さで、トップで暫定チェッカーを受ける。

スクランブルレーシングPS13

スーパークラス
5位

No.85



ヤシオファクトリーF14

予選リタイヤ

No.97



今回の世界一決定戦の総エントリー台数は、ハチロクとシルビア/180SXでちょうど64台ずつの計128台。前回まではハチロクのほうが多かったんだけど、そろそろシルビア/180SXに世代交代する時期がやってきたようだね。それはさておき、ここではハチロク&シルビア/180SX世界一決定戦で見つけた“スーパーカッコいい”マシンをビシッとチェックしてみよう!

シルビア/180SX
スーパークラス レース模様



プロスコポレーションS13

スーパークラス3位

No.84



ユージーランドボディーS13

No.86



スーパークラス
決勝リタイヤ

シルビア/180SX
ストリートクラス レース模様



No.137

NEKO・OPT2・シルビア



賞典外

おなじみ、マサ・サイトー駆るNEKO・OPT2・シルビアは、フリー走行でいきなりミッションブロー。原因はどうやら、前日に食べた“あんこう鍋”らしい!

シルビア/180SX日本一決定戦の覇者、アウトスライダーレーシングの五十嵐が序盤でトップに立ちレースをリード、そのまま独走でチェッカーを受ける。予選下位クラスは激しいバトルの末、新見が制した。